

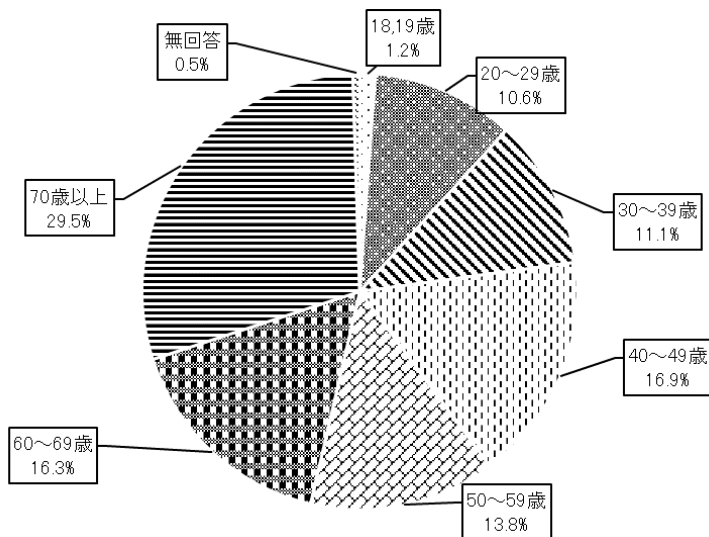
令和3年度県政世論調査結果（※10月1日時点）概要について

<調査の概要>

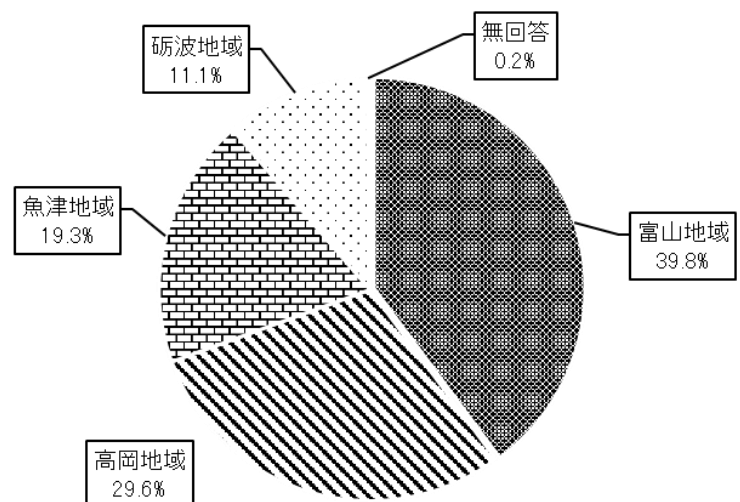
- 1 調査対象 県内に居住する満18歳以上の男女4,000人
- 2 調査期間 令和3年8月12日～9月6日
- 3 調査方法 郵送調査
- 4 回収数(率) 2,161人 (54.0%) (10月1日時点)
※うちWEB回収 520 (全回収数の24.0%)
<R2年度: 2,155人 (53.9%)
※うちWEB回収272人 昨年度より248人増>

5 年代・地域別

(世代別)



(地域別)



6 調査項目

- (1) 県政全般（政策の満足度、県政への要望）
- (2) 個別施策
 - ① ウェルビーイング
 - ② カーボンニュートラルの推進
SDGs、働き方改革、女性の活躍推進、
リカレント教育への取組み、「新しい生活様式」の実践
福祉施策の充実、地産地消に関する意識調査
食品ロスの削減、犯罪の予防
- (3) 意識調査
 - 郷土への愛着等に関する設問
 - 県民参考指標に関する設問

1 県政全般について

<政策の満足度について>

県の政策について、「満足」、「どちらかといえば満足」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば不満」、「不満」から1つ選択

○満足度の高い項目（上位10項目）

- ・例年同様、『北陸新幹線の整備促進』、『水資源の保全と活用』、『食の安全確保と地産地消・食育の推進』が上位となっている。
- ・昨年5位だった「雪に強いまちづくり」は今年度、38位となっている。

順位	項目		%	前回R02 (参考)
1	北陸新幹線の整備促進	交流・物流	46.1	50.5 (1位)
2	水資源の保全と活用	環 境	31.5	33.4 (2位)
3	食の安全確保と地産地消・食育の推進	健康・福祉	30.7	29.9 (3位)
4	利便性の高い道路ネットワークの整備	交流・物流	28.1	28.7 (4位)
5	子育て支援	子育て・教育	26.3	28.2 (6位)
6	医療提供体制の充実	健康・福祉	26.0	28.1 (7位)
6	家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成	子育て・教育	25.9	27.6 (8位)
8	新幹線駅を核とした交流拠点づくり	交流・物流	25.2	27.6 (8位)
9	住環境の整備	安全・安心	24.5	23.0 (15位)
10	自然環境の保全	環 境	24.0	24.9 (10位)

※『満足している』と『どちらかといえば満足している』を合わせた数値を指標としている。

○不満度の高い項目（上位10項目）

- ・『雪に強いまちづくり』が大きく上昇し、1位となった。

順位	項目		%	前回R02 (参考)
1	雪に強いまちづくり	安心・安全	55.3	27.9 (15位)
2	中心市街地の賑わいの創出	まちづくり・観光	48.5	46.0 (1位)
3	商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	産 業	40.5	39.0 (2位)
4	快適で活力ある魅力的なまちづくりの推進	まちづくり・観光	39.1	37.4 (4位)
5	スピード重視の県政	県 政	38.9	38.6 (3位)
6	選ばれ続ける観光地づくり	まちづくり・観光	36.3	33.5 (7位)
7	富山のブランド力アップ	まちづくり・観光	36.0	33.8 (6位)
8	オープンでわかりやすい県政	県 政	33.7	32.6 (9位)
8	雇用の確保と人材の育成	産 業	33.7	31.7 (10位)
10	現場重視で効率的な県政	県 政	33.3	33.5 (7位)

※『不満である』と『どちらかといえば不満である』を合わせた数値を指標としている。

< 県政への要望について >

県の政策のうち、もっと力を入れてほしいと思う政策を5つ以内で選択

- ・例年同様、景気対策、高齢福祉、子育て支援、医療体制、雪対策の関連項目が上位を占めている。
- ・『雪に強いまちづくり』は大きく伸び、約30%(15.6%増)となっている。
- ・『商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり』が大きく順位をあげた。(25位⇒7位)

○要望の高い項目（上位10項目）

順位	項目		%	前回R02 (参考)
1	雪に強いまちづくり	安心・安全	29.0	13.4(5位)
2	景気対策	産 業	16.1	20.5(1位)
3	医療提供体制の充実	健康・福祉	13.7	15.1(4位)
4	高齢者福祉の充実	健康・福祉	13.4	17.1(2位)
5	子育て支援	子育て・教育	12.8	16.1(3位)
6	富山県や日本を担う子供の育成	ひとづくり	11.2	12.6(7位)
7	商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	産 業	11.0	5.7(25位)
8	出会いから結婚、妊娠、出産までの切れ目のない支援	子育て・教育	9.6	9.1(10位)
9	子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進	子育て・教育	9.2	8.8(11位)
9	防災・危機管理体制の充実	安全・安心	9.2	12.9(6位)

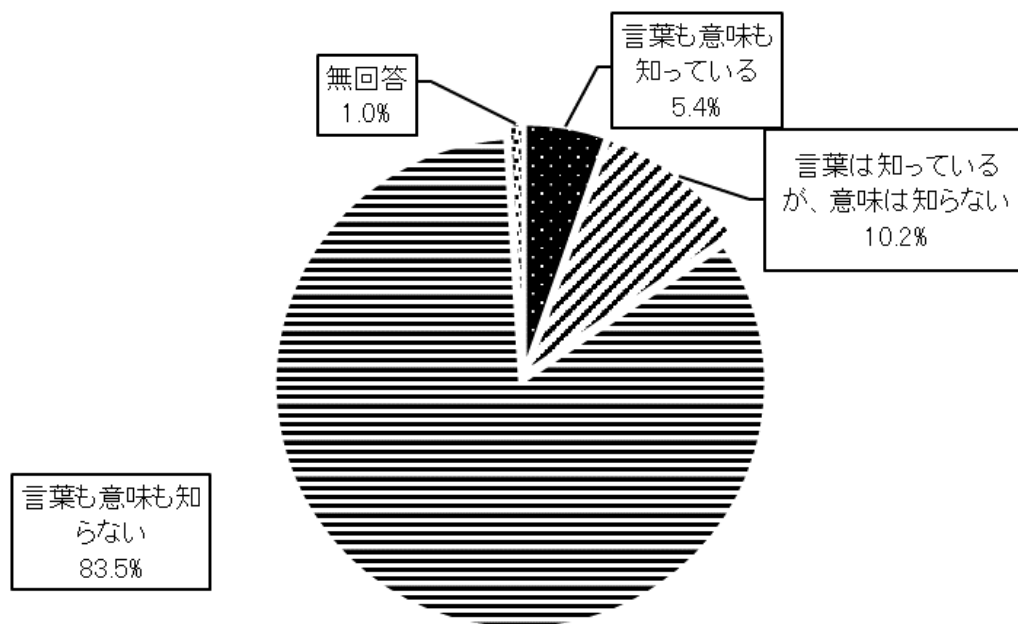
【参考】過去調査結果（上位5項目）

順位	要望調査 (%)				
	H 2 9	H 3 0	R 0 1	R 0 2	R 0 3
1	景気対策 23.2	雪に強いまちづくり 29.6	雪に強いまちづくり 22.7	景気対策 20.5	雪に強いまちづくり 29.0
2	子育て支援 20.3	景気対策 17.2	景気対策 20.1	高齢者福祉の充実 17.1	景気対策 16.1
3	高齢者福祉の充実 17.9	高齢者福祉の充実 14.5	高齢者福祉の充実 16.5	子育て支援 16.1	医療提供体制の充実 13.7
4	医療提供体制の充実 15.7	子育て支援 14.0	子育て支援 15.4	医療提供体制の充実 15.1	高齢者福祉の充実 13.4
5	雪に強いまちづくり 14.5	防災・危機管理体制の充実 12.4	医療提供体制の充実 14.4	雪に強いまちづくり 13.4	子育て支援 12.8

2 新 ウェルビーイングについて

(1) 「ウェルビーイング」の認知度について（単一回答）

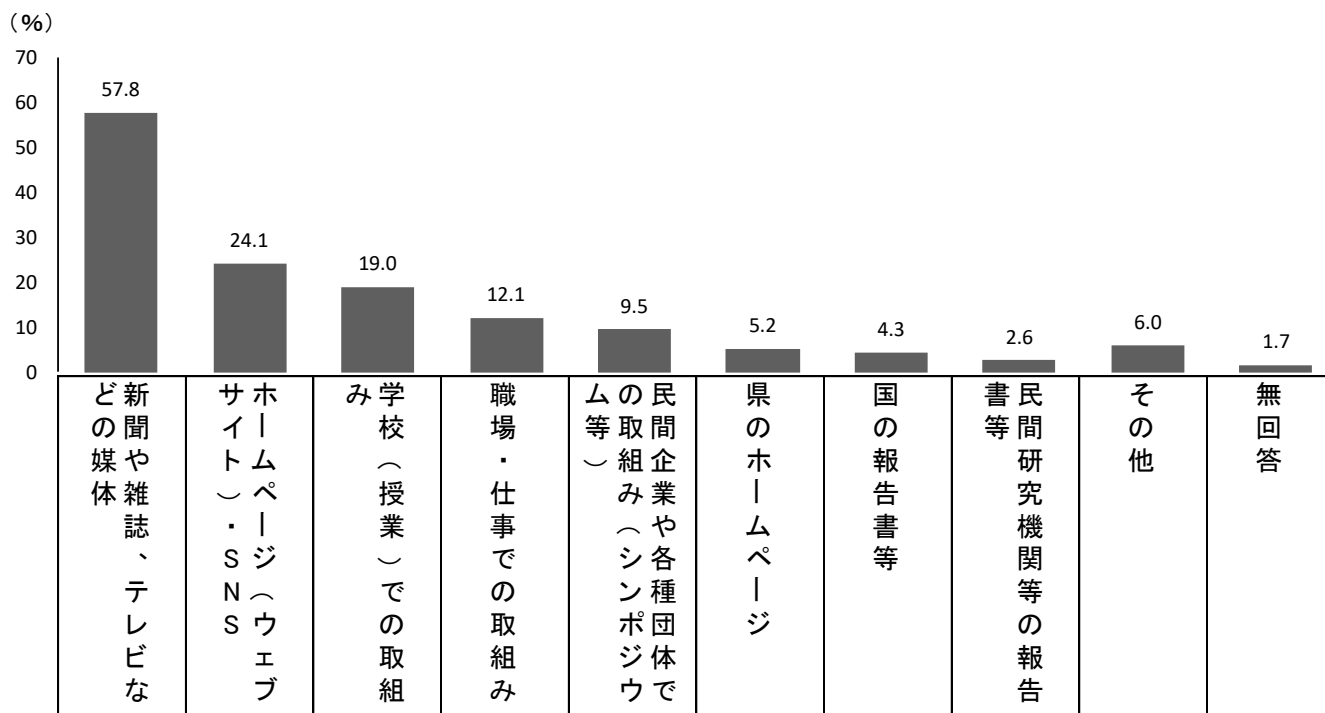
- ・『言葉も意味も知らない』が最も多くなっている。
- ・『言葉を知っている』が15.6%となっている。



(2) 「ウェルビーイングを知った主なきっかけ」について

（複数回答：3つ以内） ※対象者：(1)で「言葉も意味も知っている」と回答した者

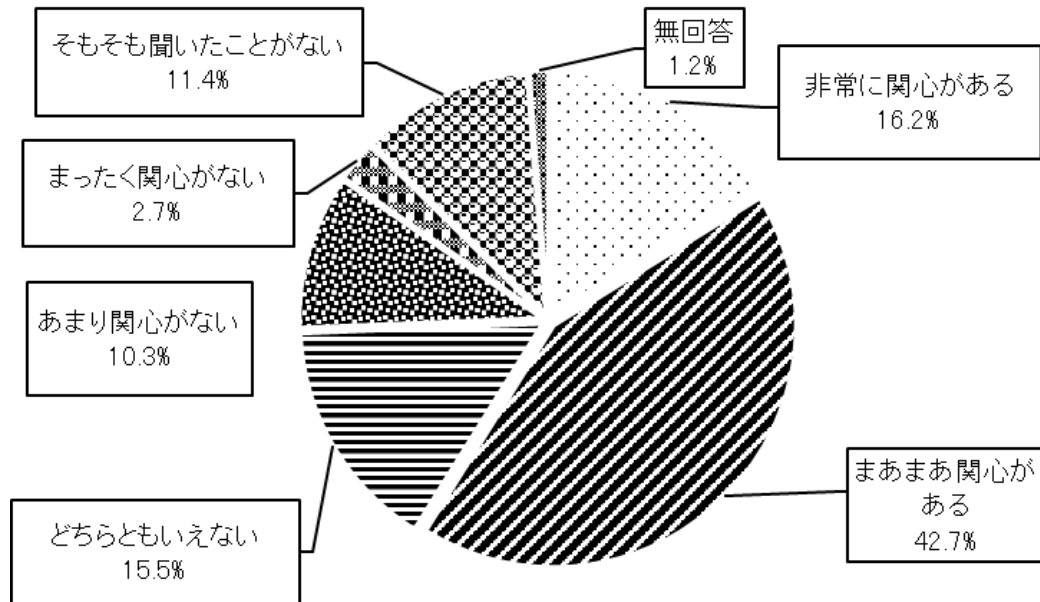
- ・『新聞や雑誌、テレビなどの媒体』が約5割を超え、最も多くなっている。



3 新 カーボンニュートラルの推進について

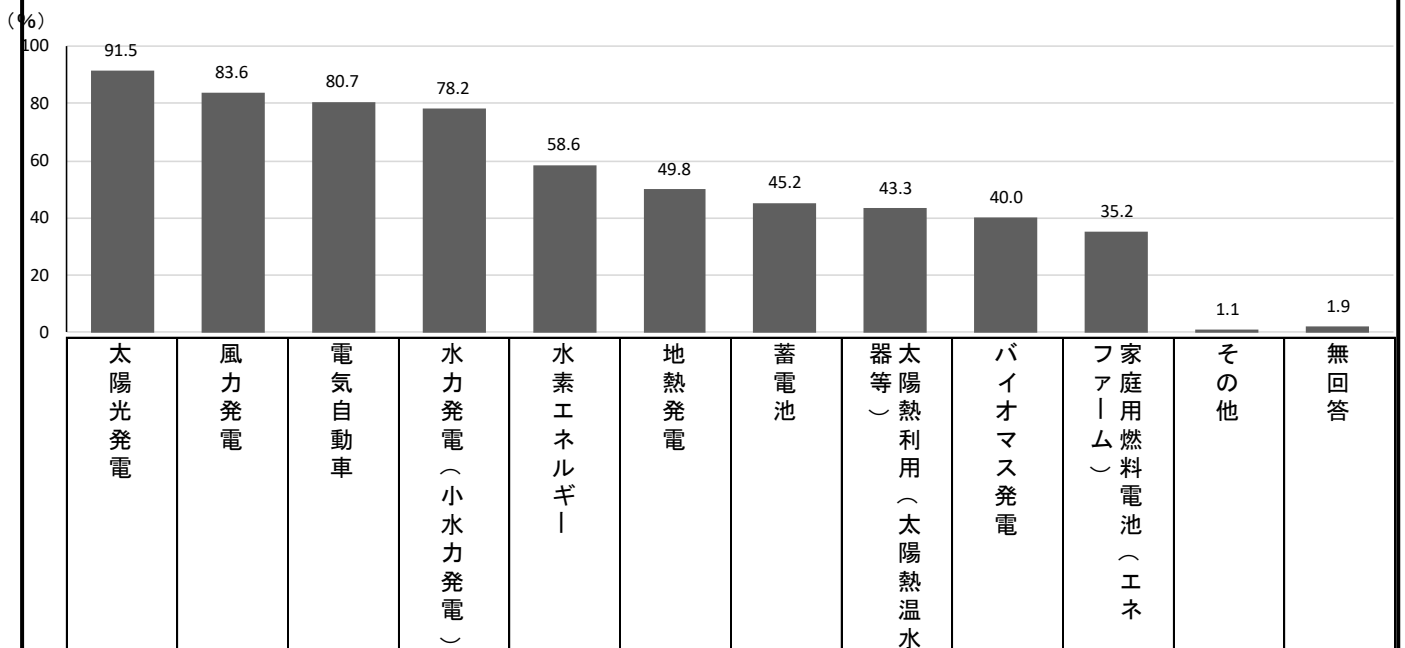
(1) カーボンニュートラルについて関心があるか (単一回答)

・『非常に関心がある』『まあまあ関心がある』で58.9%となっている。



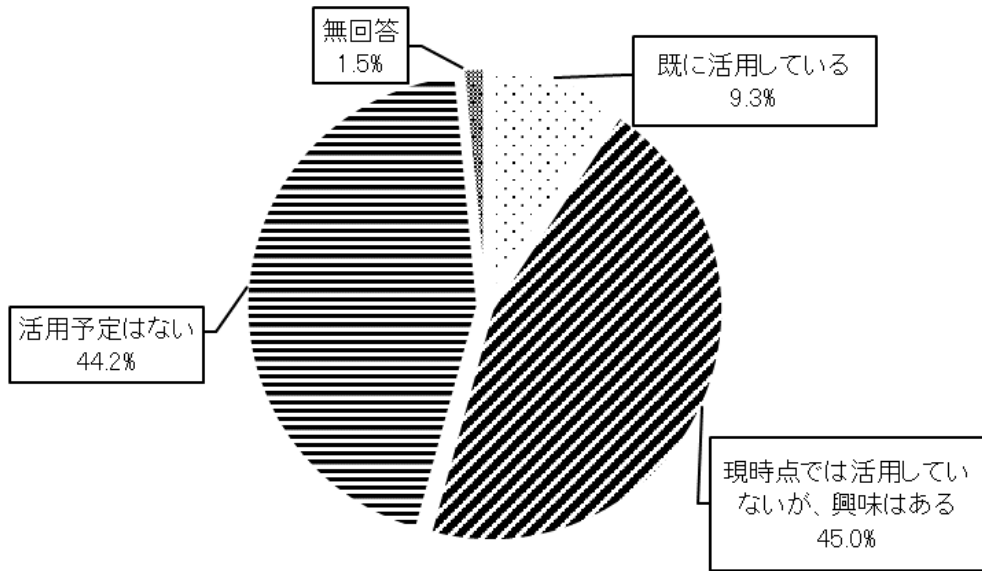
(2) どの再生可能エネルギー等について知っているか (複数回答: いくつでも)

・『太陽光発電』との回答が最も多くなっており、次いで『風力発電』『電気自動車』『水力発電』となっている。



(3) ご家庭で再生可能エネルギー等を活用しているか (単一回答)

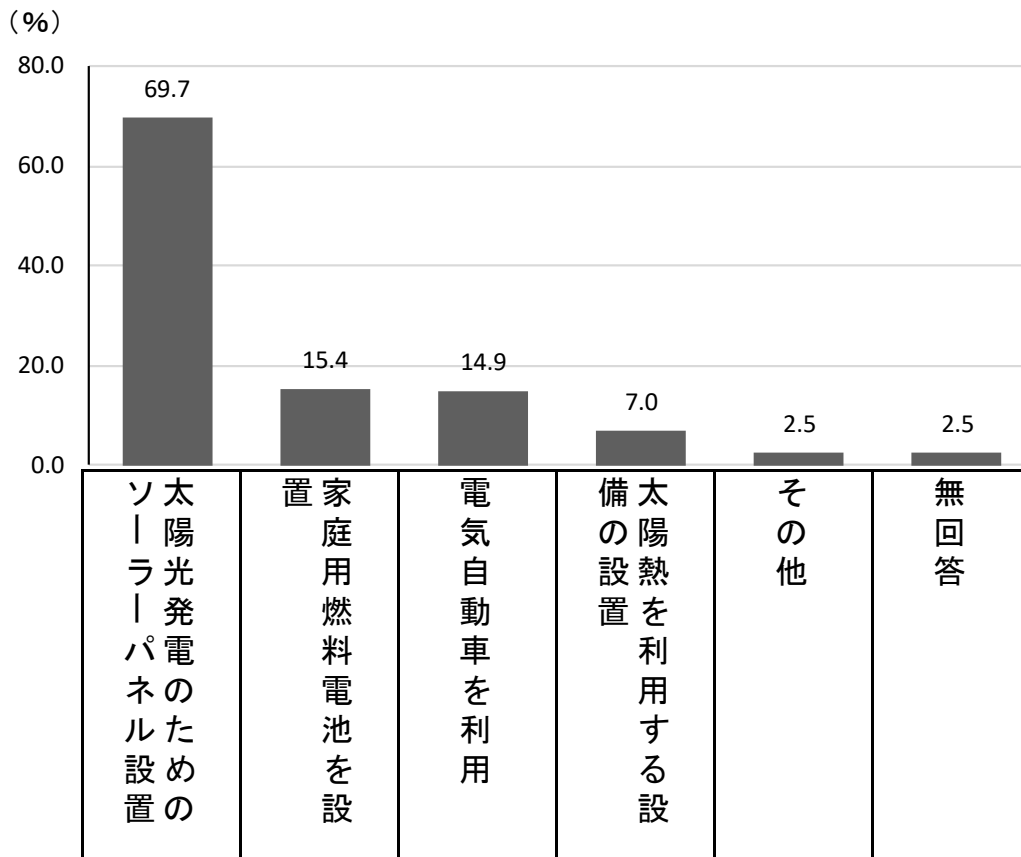
- ・『既に活用している』『現時点では活用していないが、興味はある』で54.3%となっている
- ・『活用予定はない』が44.2%となっている。



(4) ご家庭では、どのような再生可能エネルギー等を活用しているか

(複数回答：いくつでも) ※対象者：上記(1)で「既に活用している」と回答した者

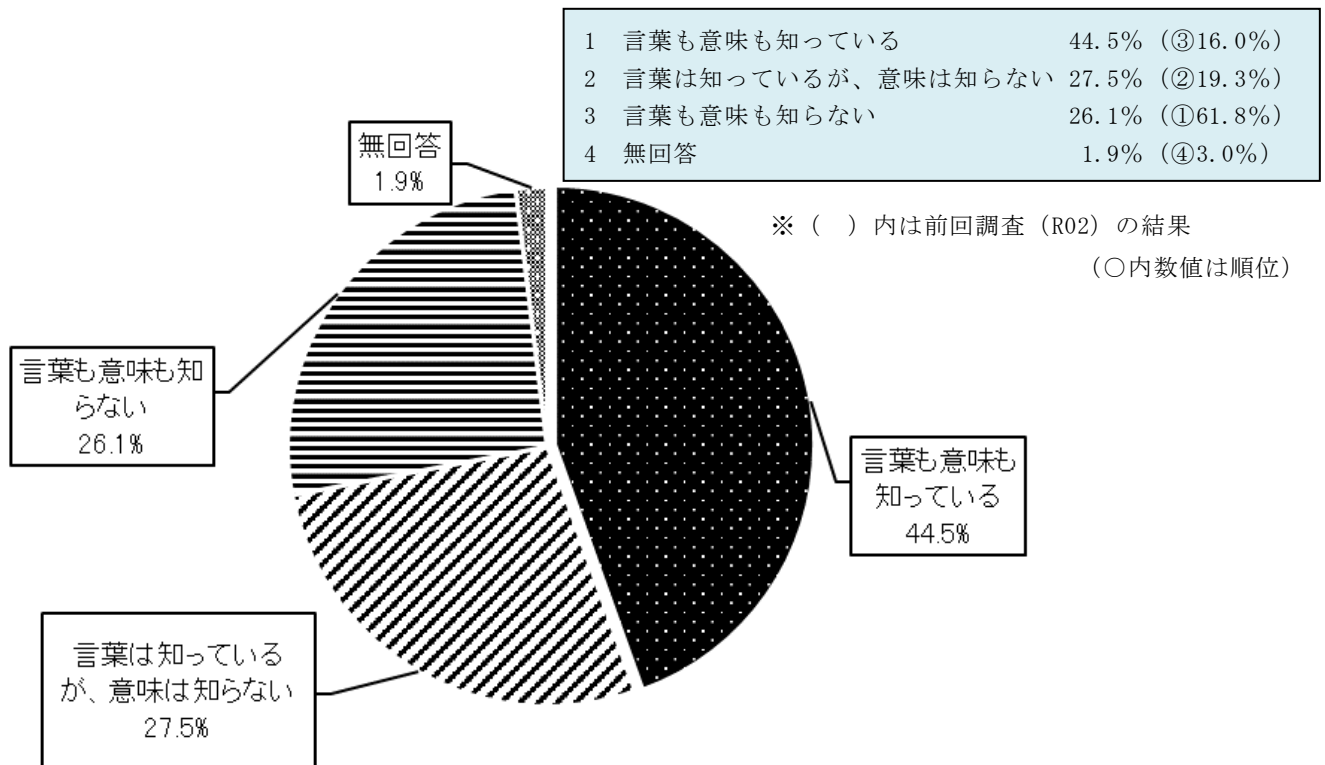
- ・『太陽光発電のためのソーラーパネル設置』が最も多くなっている。



4 SDGsについて

(1) SDGsの認知度について（単一回答）

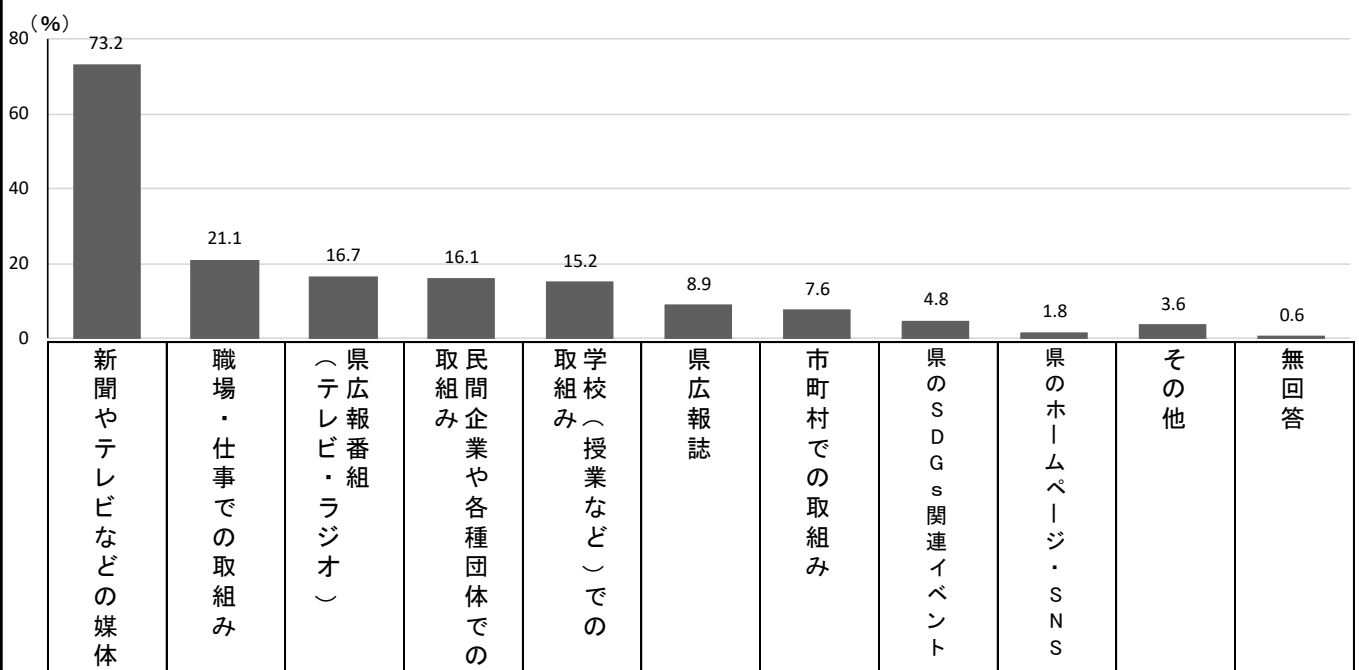
・『言葉も意味も知っている』が、44.5%と大きく伸びた。(R2:16%)



(2) SDGsを知ったきっかけについて（複数回答：3つ以内）

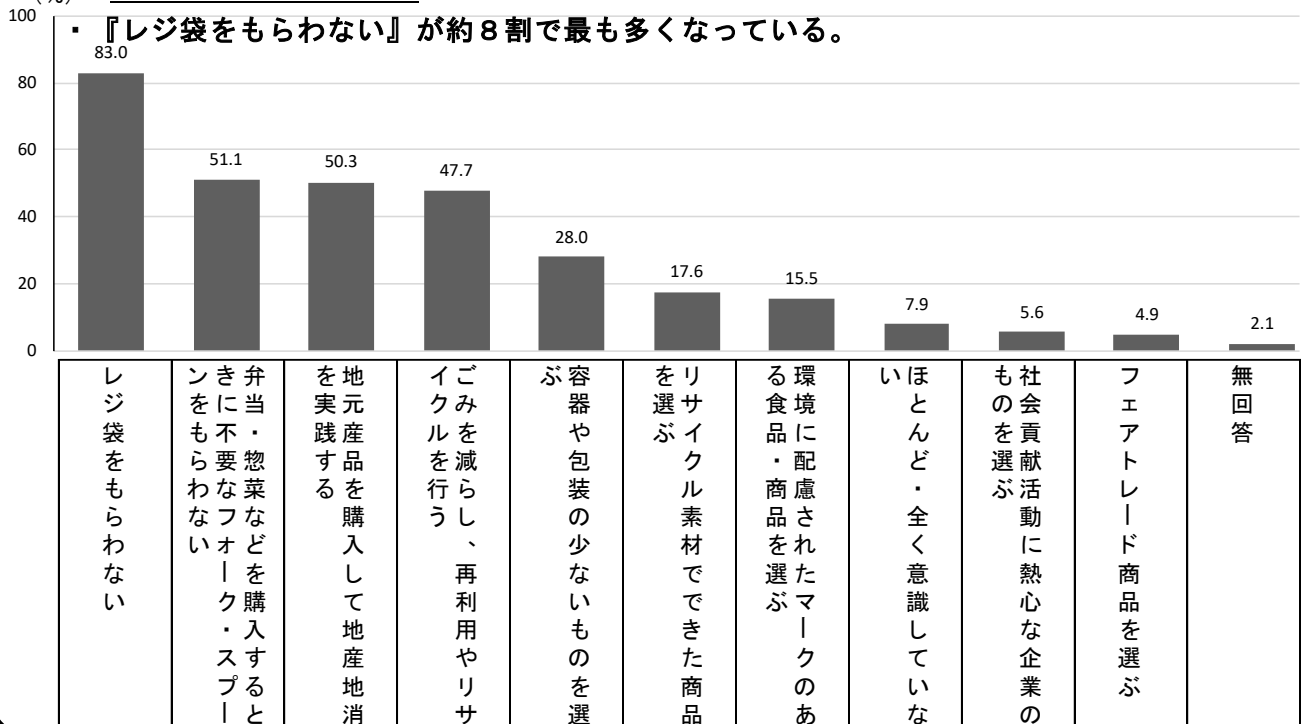
※対象者：上記（1）で「言葉も意味も知っている」と回答した者

・『新聞やテレビなどの媒体』が70%超で最も多く、次いで『職場・仕事での取組み』となっている。



(3) 日頃の買物で、どのようなことを意識しているか (エシカル消費)

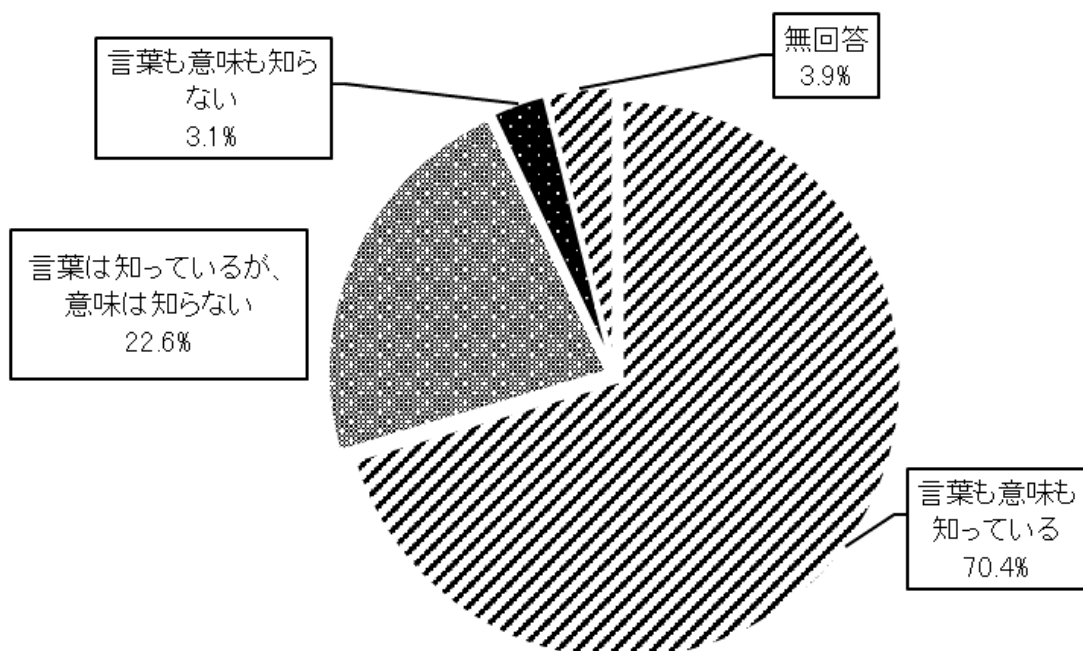
(%) (複数回答: いくつでも)



5 働き方改革について

(1) 「働き方改革」の認知度について (単一回答)

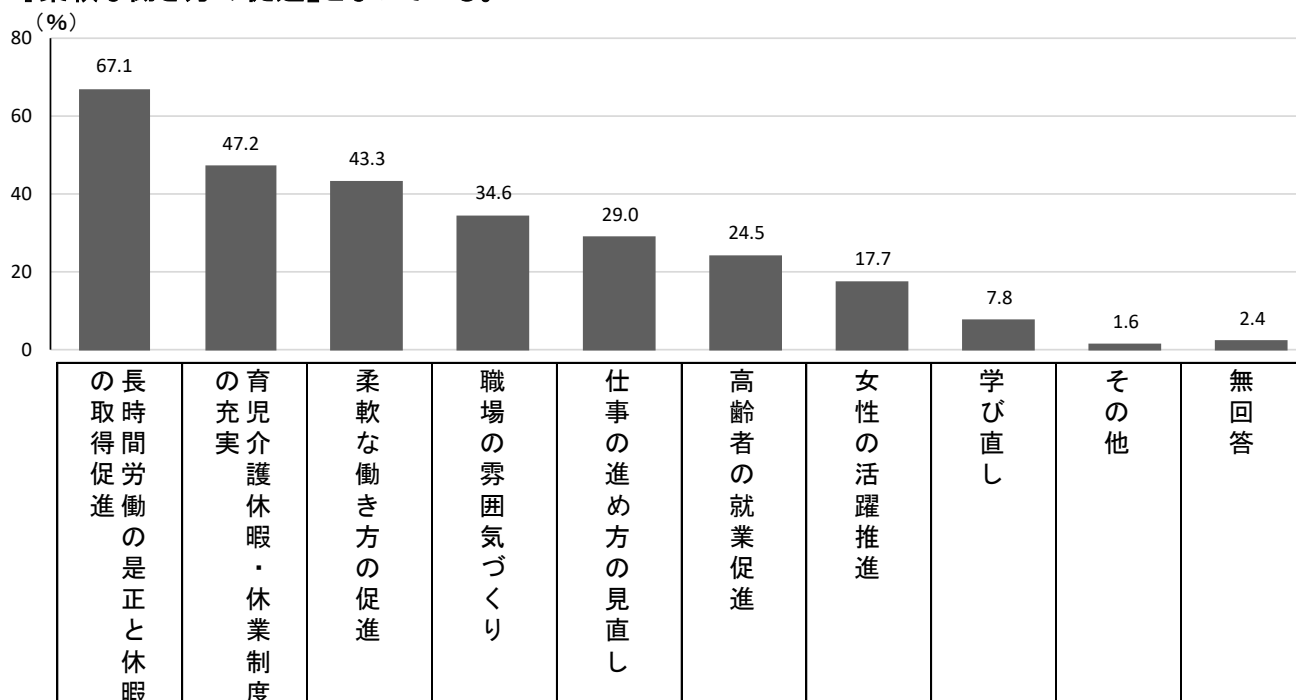
- ・『言葉も意味も知っている』は約7割となっている。
- ・『言葉は知っているが意味は知らない』は約2割となっている。



(2) 「働き方改革」を進めていくにあたり、特に重要と考えるものについて

(複数回答：3つ以内)

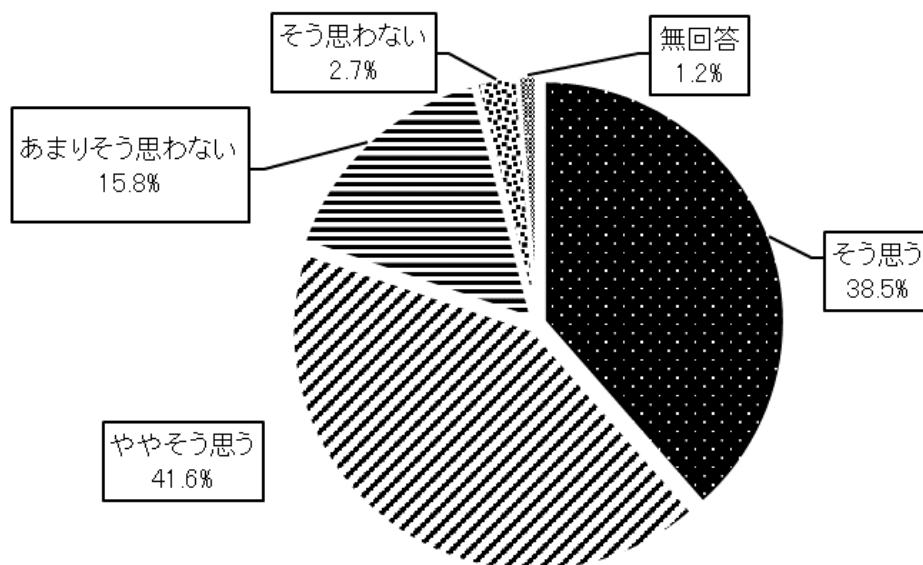
・『長時間労働の是正と休暇の所得促進』が最も多く、次いで、『育児介護休暇・休業制度の充実』、『柔軟な働き方の促進』となっている。



6 女性の活躍推進について

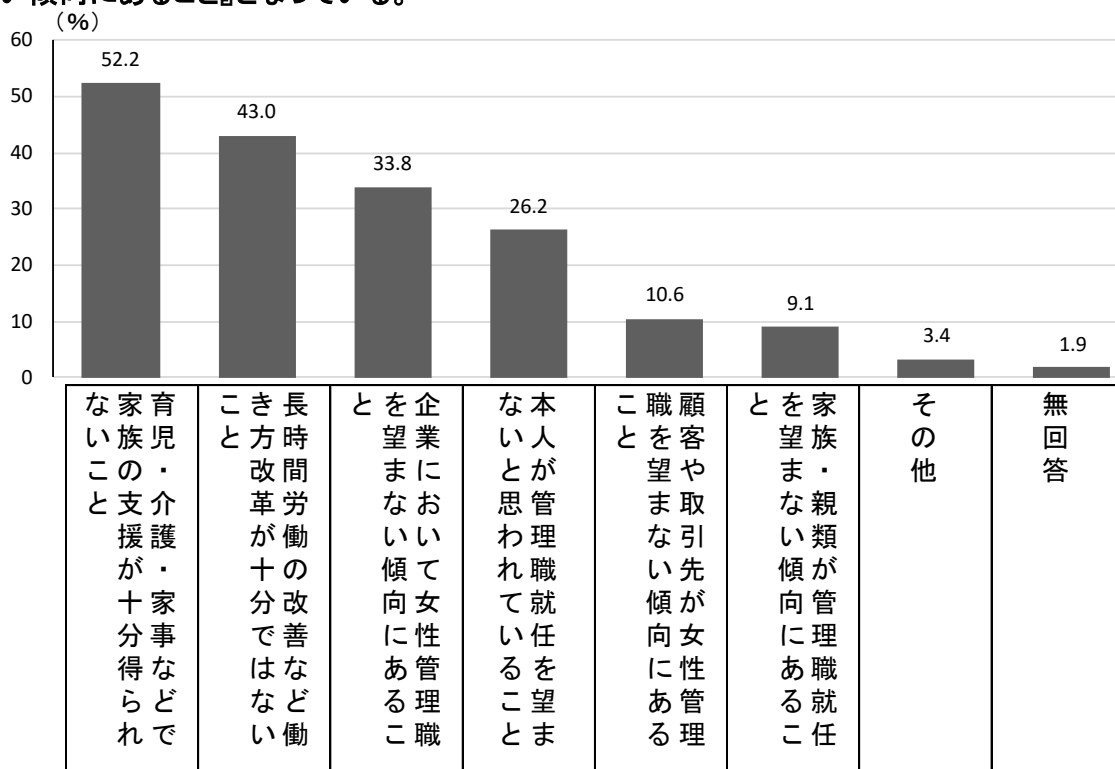
(1) 女性が積極的に組織の意思決定に関わるポスト（管理職）に就くべきかについて（単一回答）

・『そう思う』と『ややそう思う』で約8割となっている。



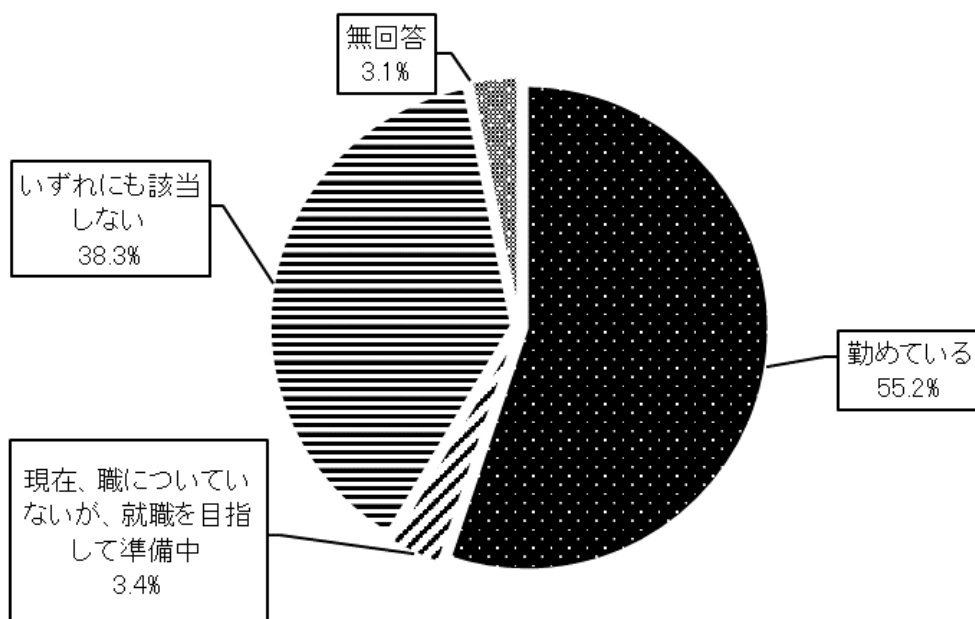
(2) 女性が管理職に就く際に障害となることについて（複数回答：2つ以内）

・『育児・介護・家事などで家族の支援が十分に得られないこと』が5割超となっている。
 次に、『長時間労働の改善など働き方改革が十分でないこと』『企業において女性管理職を望まない傾向にあること』となっている。



7 リカレント教育の取組みについて

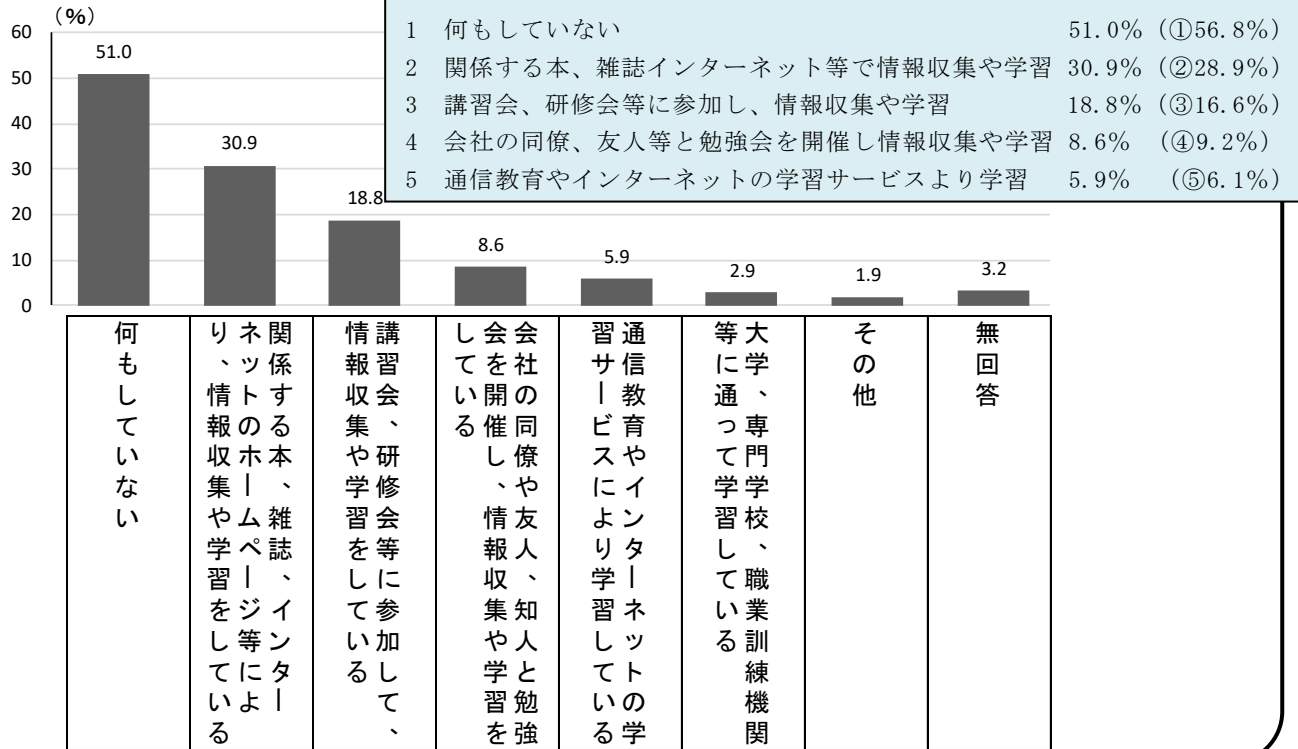
(1) 現在のお勤めについて（単一回答）



(2) 「リカレント教育(社会人の学び直し)として現在何か取り組んでいるか」

について(複数回答:いくつでも) ※対象者:(1)で「1. 勤めている」「2. 現在、職に就いていないが、就職を目指して準備中」と回答した者

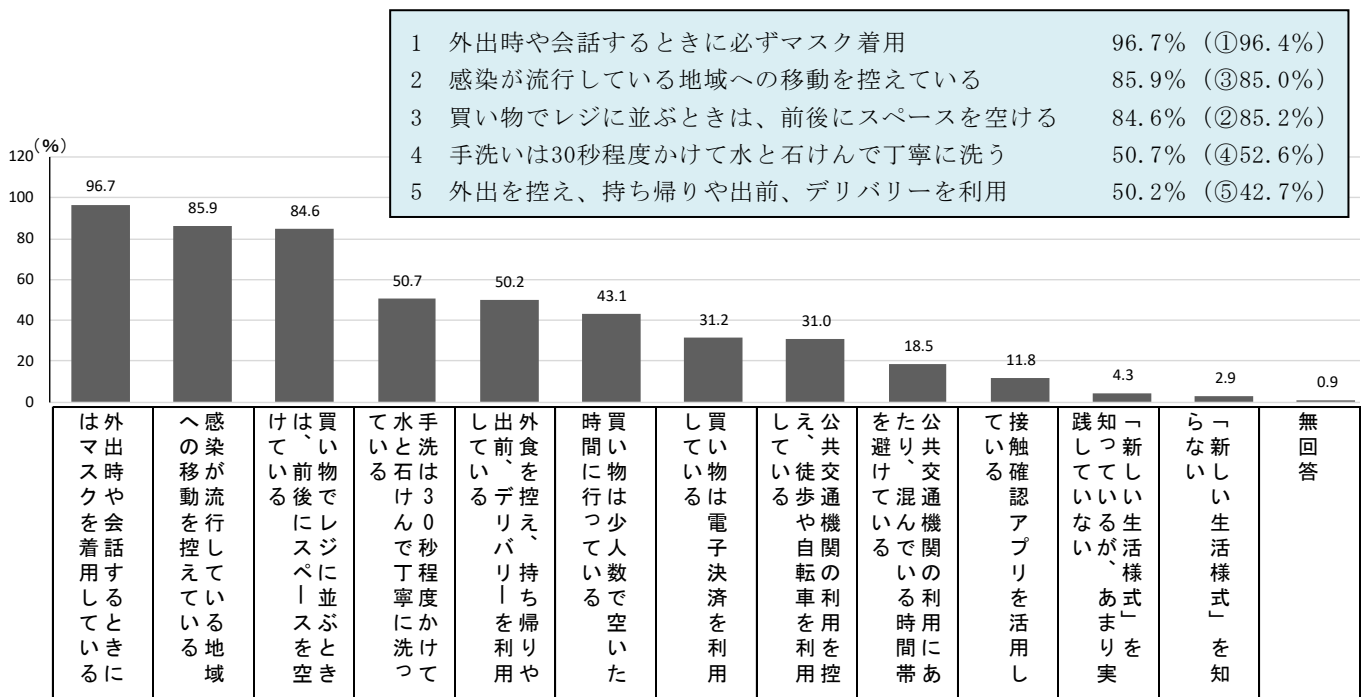
・前回同様、『何もしていない』が約5割を超えているが、前回比で「やや減(56.8%⇒51.0%)」となった。『関係する本、雑誌、インターネットのホームページ等により、情報収集や学習をしている』が次いで多くなっている。



8 「新しい生活様式」の実践について

日常生活の中で実践していることについて(複数回答:いくつでも)

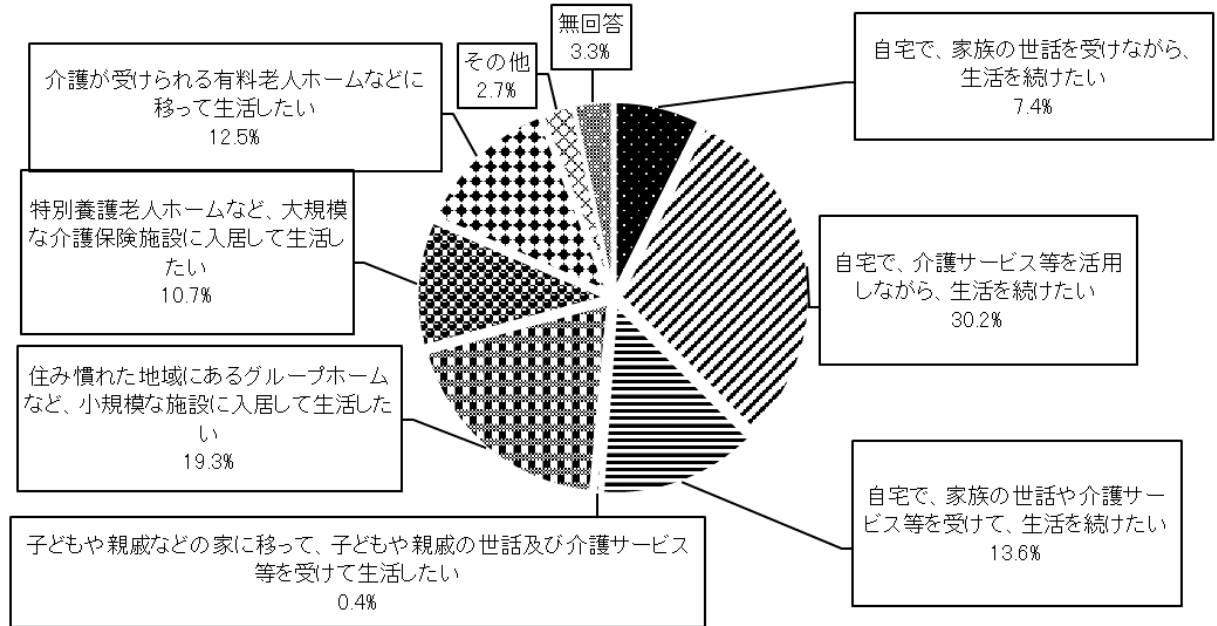
・前回同様、『マスクの着用』『感染が流行している地域への移動を控える』『買い物でレジに並ぶときは、前後のスペースを空ける』が上位となっている。



9 福祉施策の充実について

(1) ご自身の介護が必要になった場合、どのような生活を望むかについて（単一回答）

・前回同様、『自宅で介護サービス等を活用しながら生活を続けたい』が最も多くなっている。



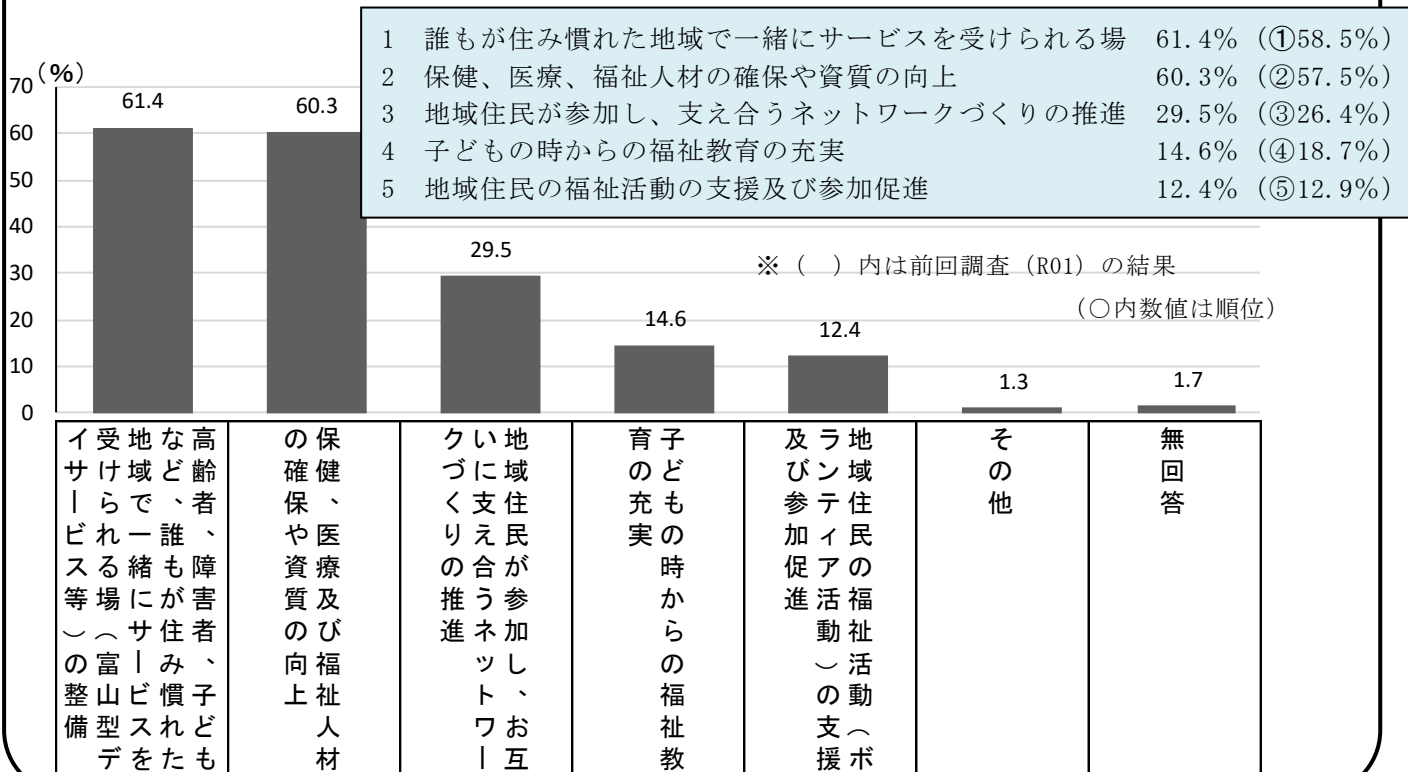
※（ ）内は前回調査（R01）の結果（○内数値は順位）

1	自宅で、介護サービス等を活用し、生活	30.2%	①26.7%
2	住み慣れた地域にあるグループホームなど小規模な施設に入居して生活	19.3%	②17.6%
3	自宅で家族の世話、介護サービス等を受けて生活	13.6%	③13.3%
4	介護が受けられる有料老人ホームなどに移り、生活	12.5%	⑤10.4%
5	特別養護老人ホームなど大規模な介護保険施設に入居し、生活	10.7%	④12.5%

(2) 誰もが住み慣れた地域で安心して生活するため、取り組むべき課題について

（複数回答：2つ以内） ※対象者：(1)の「特別養護老人ホームなど、大規模な介護保険施設に入居して生活」「介護が受けられる優良老人ホームなど移って生活」以外を回答した者

・前回同様、『高齢者、障害者、子どもなど、誰もが住み慣れた地域で一緒にサービスを受けられる場』、『保健、医療及び福祉人材の確保や資質の向上』が高くなっている。

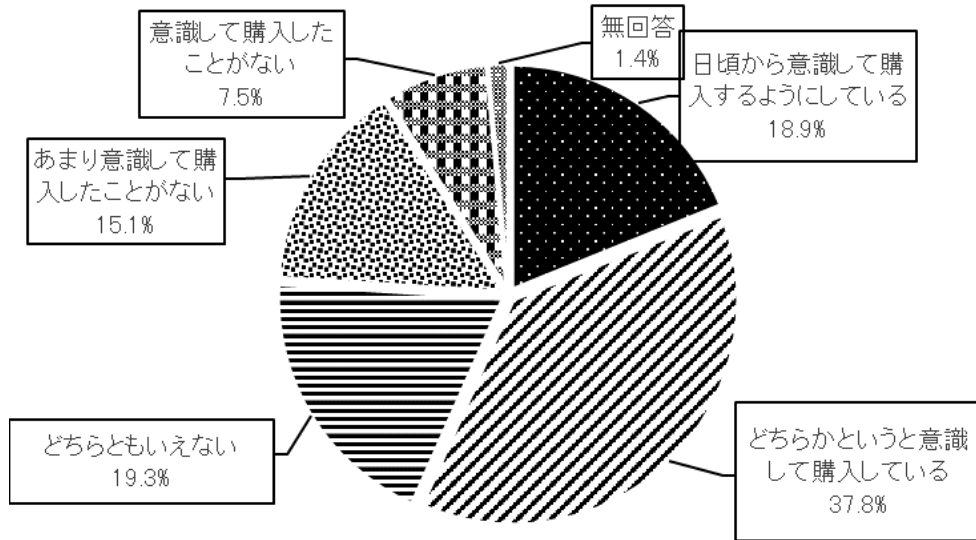


※（ ）内は前回調査（R01）の結果（○内数値は順位）

10 地産地消に関する意識調査について

スーパーなどで買い物するとき、富山県産の農林水産物を意識して購入しているかについて（単一回答）

・『どちらかという意識して購入している』と『日頃から意識して購入するようにしている』で5割超となり、前回より10ポイント上昇した。



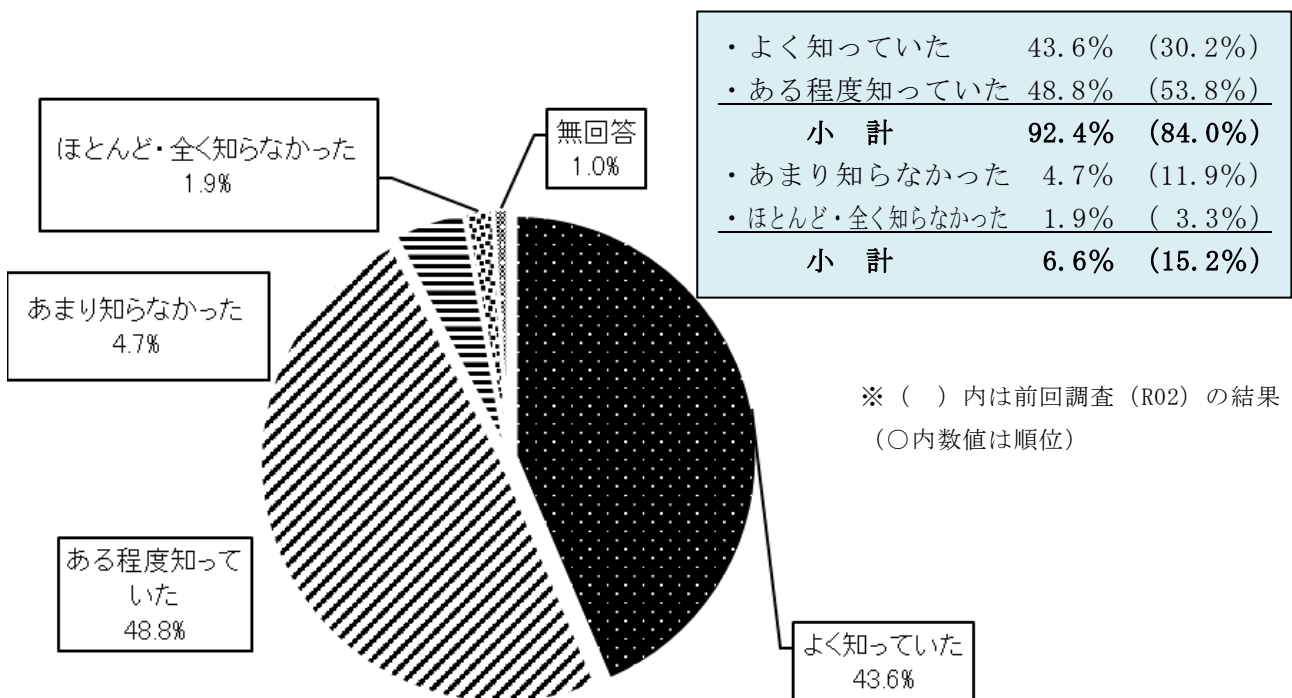
1	どちらかという意識して購入している	37.8%	(①29.1%)
2	日頃から意識して購入するようにしている	18.9%	(②17.6%)
3	どちらともいえない	19.3%	(③19.2%)
4	あまり意識して購入したことがない	15.1%	(④20.2%)
5	意識して購入したことがない	7.5%	(⑤11.1%)

※（ ）内は前回調査（R01）の結果
（○内数値は順位）

11 食品ロスの削減について

（1）食品ロスの認知度について（単一回答）

・『よく知っていた』と『ある程度知っていた』で9割を超え、前回より約8ポイント上昇した。

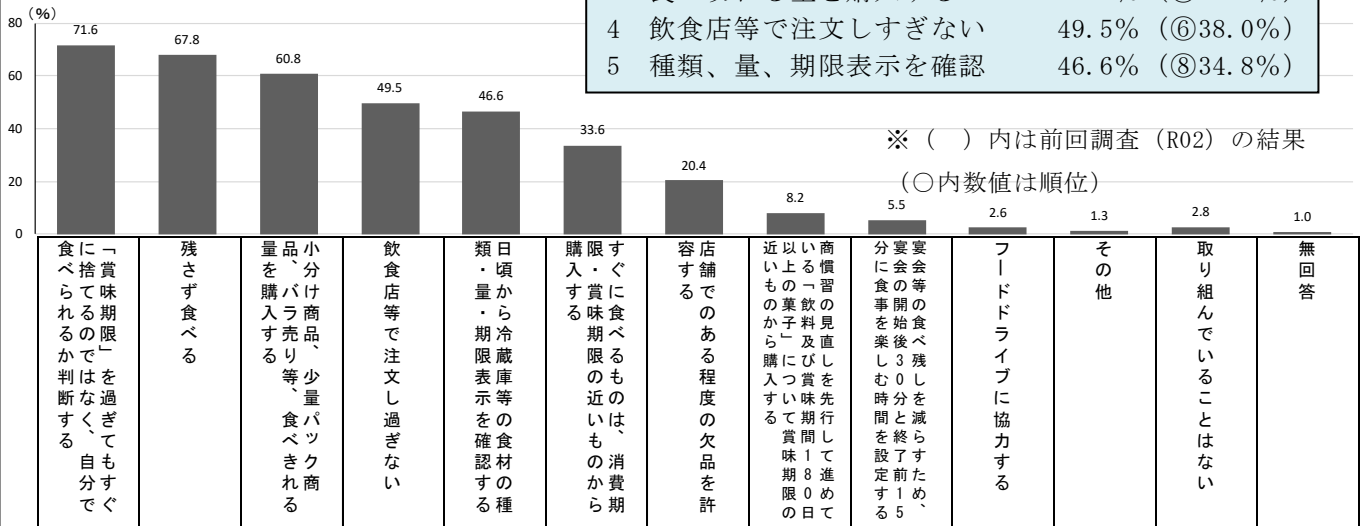


※（ ）内は前回調査（R02）の結果
（○内数値は順位）

(2) 食品ロスを減らすために取り組んでいることについて (複数回答: いくつでも)

・『自分で食べられるか判断する』が1位、次いで『残さず食べる』、『食べ切れる量を購入する』の順となった。概ね、前回より取組みの割合が高くなっている。

1	自分で食べられるか判断する	71.6%	(①62.9%)
2	残さず食べる	67.8%	(②61.1%)
3	食べ切れる量を購入する	60.8%	(④56.7%)
4	飲食店等で注文しすぎない	49.5%	(⑥38.0%)
5	種類、量、期限表示を確認	46.6%	(⑧34.8%)



※「3015 (さんまるいちご) 運動」とは、立山の標高3015mにちなみ、「30」と「15」をキーワードにした富山型の食品ロス削減運動。

〔食べきり3015運動〕: 宴会時において、開演後30分と終了前15分に自席で料理を楽しむ時間を設定し、食べきる運動。

〔使いきり3015運動〕: 毎月30日と15日に家庭の冷蔵庫等をチェックし、食材を使い切る運動。

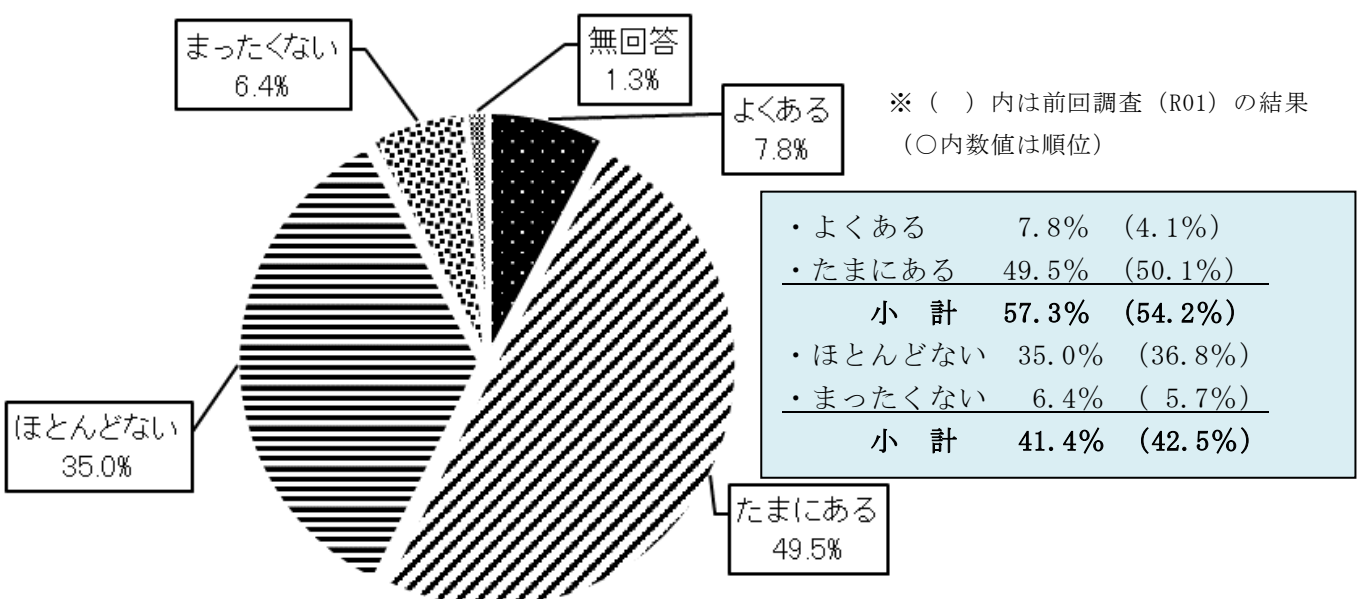
※「フードドライブ」とは、家庭で余っている食品を集めて、食品を必要としている福祉団体やこども食堂などに寄付する活動。

12 犯罪の予防について

(1) 自分や家族が犯罪の被害に遭うのではないかと不安に感じるかどうかについて

(単一回答)

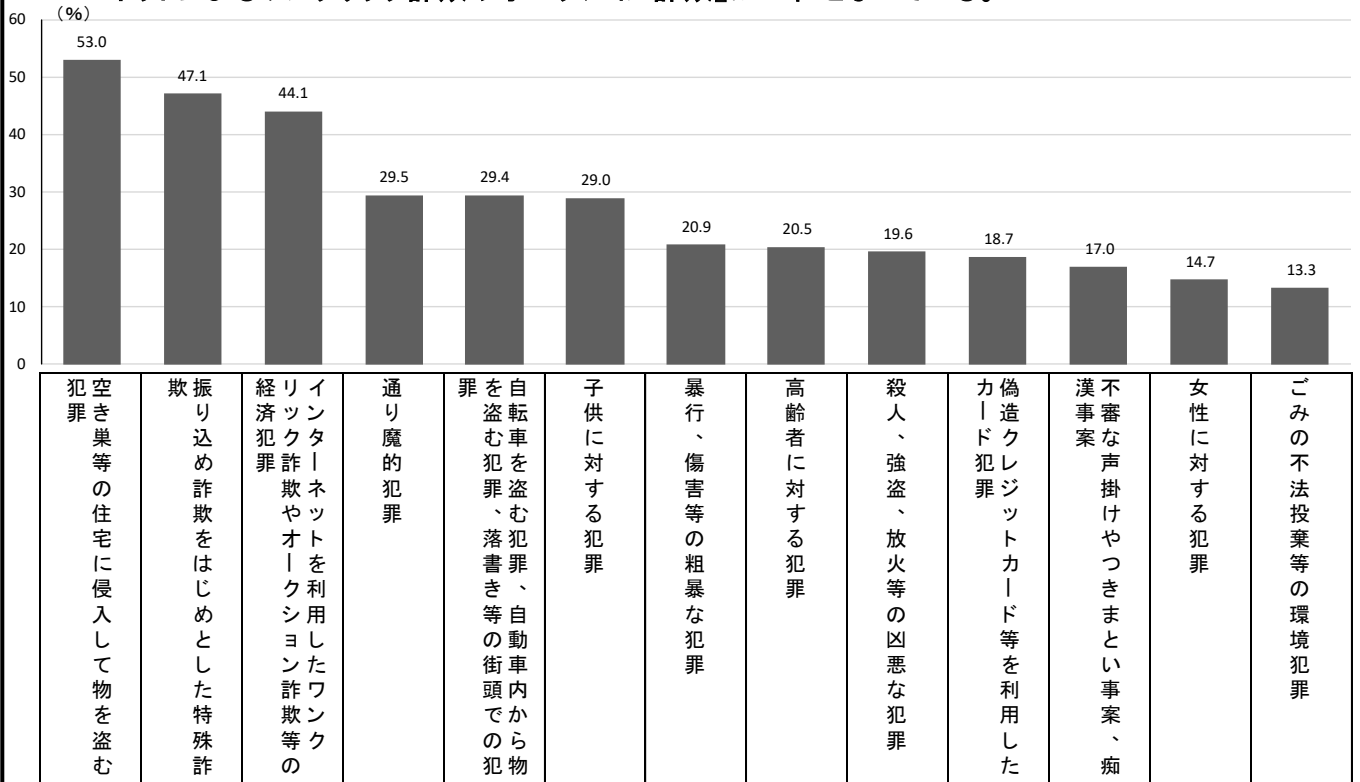
・『よくある』と『たまにある』で57.3%となっており、前回よりも大きくなっている。



(2) どのような犯罪に不安を感じるかについて (複数回答：5つ以内)

※対象者：上記(1)で「よくある」「たまにある」と回答した者

・前回同様、『空き巣等の住宅に侵入して者を盗む犯罪』『振り込め詐欺をはじめとした特殊詐欺』『インターネットによるワンクリック詐欺やオークション詐欺』が上位となっている。



- | | |
|---------------------------------|----------------|
| 1 空き巣等の住宅に侵入して物を盗む犯罪 | 53.0% (①52.1%) |
| 2 振り込め詐欺をはじめとした特殊詐欺 | 47.1% (②45.9%) |
| 3 インターネットによるワンクリック詐欺やオークション詐欺 | 44.1% (③41.1%) |
| 4 通り魔的犯罪 | 29.5% (④29.2%) |
| 5 自転車を盗む、自動車内から者を盗む、落書き等の街頭での犯罪 | 29.4% (⑥21.1%) |

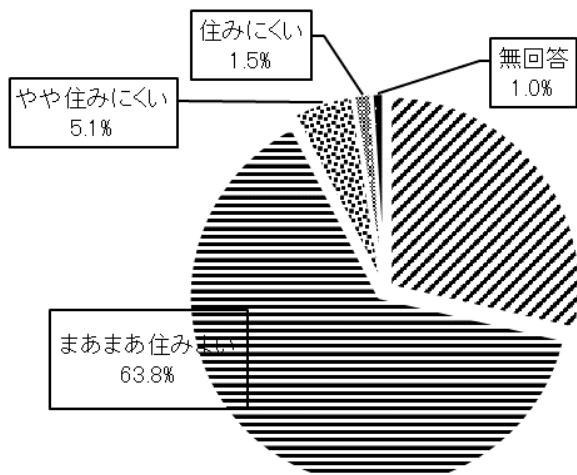


13 意識調査について

<幸福度に関する設問>

(1) 富山県の住みよさについて (単一回答)

・前回同様、『非常に住みよい』『まあまあ住みよい』をあわせ、『住みよい』が約9割となった。

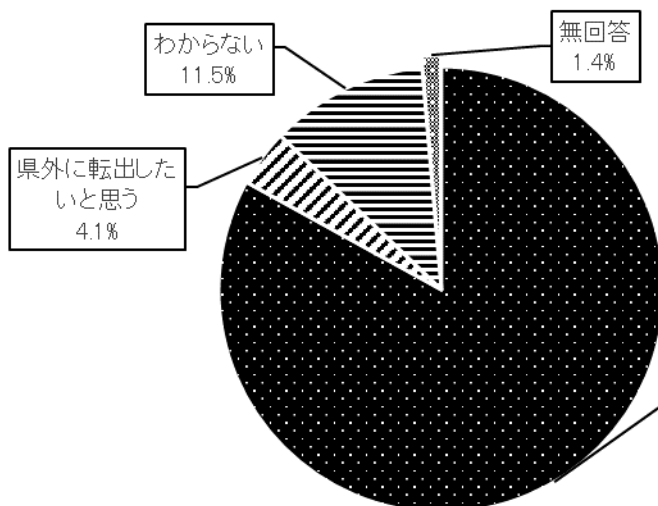


・非常に住みよい	28.6%	(32.2%)
・まあまあ住みよい	63.8%	(61.4%)
小計	92.4%	(93.6%)
・やや住みにくい	5.1%	(4.5%)
・住みにくい	1.5%	(1.1%)
小計	6.6%	(5.6%)

※ () 内は前回調査 (R02) の結果

(2) 『これからも富山県に住みたいか』について (単一回答)

・前回同様『これからも住みたい』が最も多かったが、前回より微減となった。

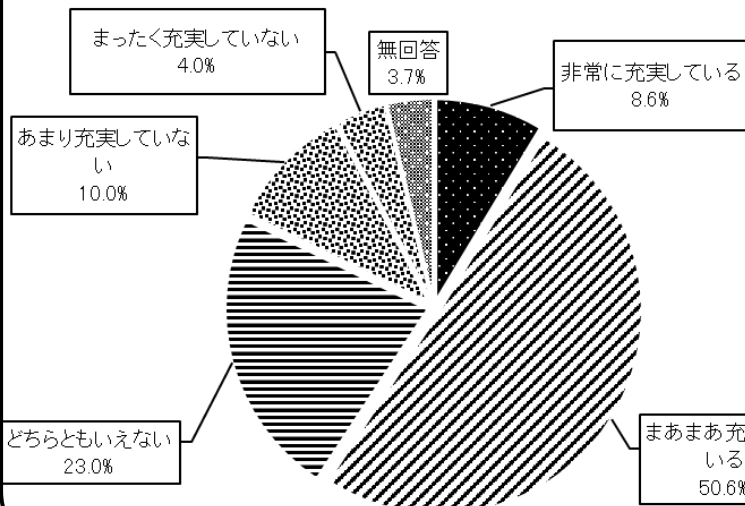


・これからも富山県に住みたいと思う	83.0%	(85.6%)
・県外に転出したいと思う	4.1%	(3.7%)
・わからない	11.5%	(9.6%)

※ () 内は前回調査 (R02) の結果

(3) 仕事の充実感 (満足感) について (注 「仕事をしていない」と回答した方を除く) (単一回答)

・『非常に充実している』と『まあまあ充実している』をあわせ、約60%が『充実している』と回答している。

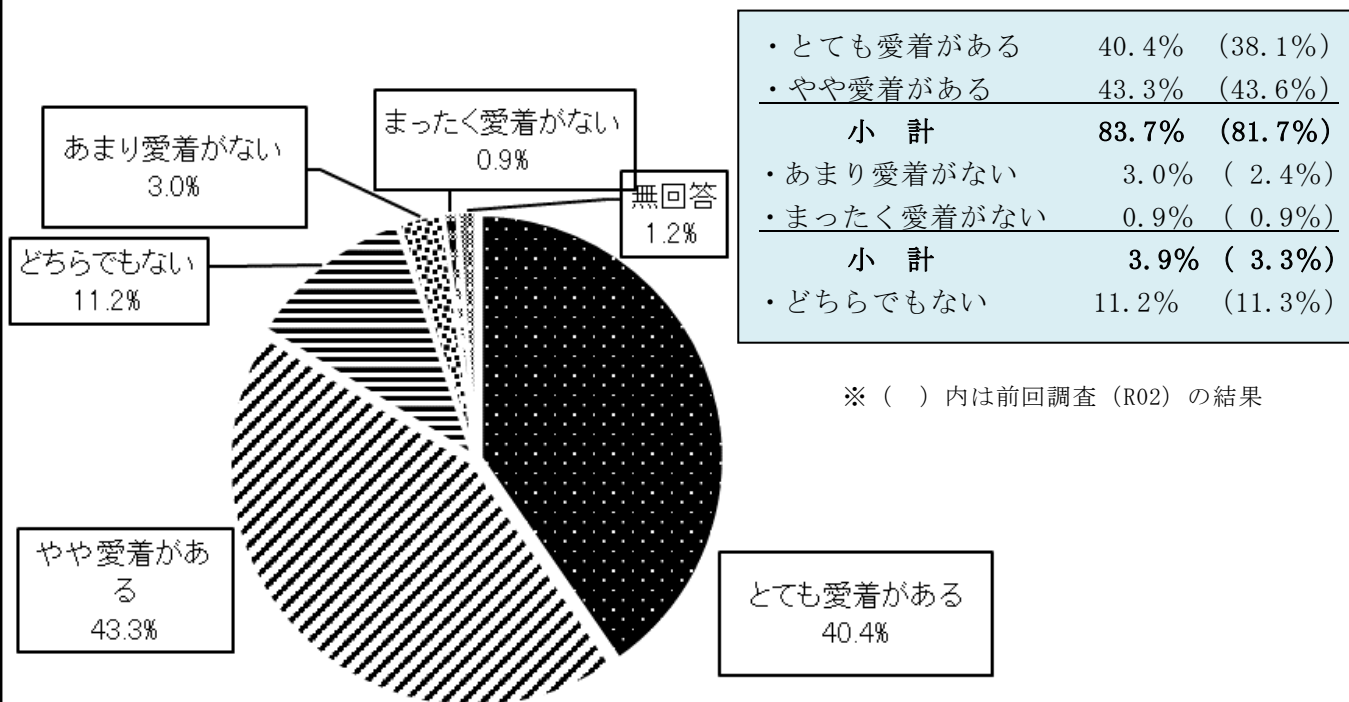


・非常に充実している	8.6%	(9.5%)
・まあまあ充実している	50.6%	(50.7%)
小計	59.2%	(60.2%)
・あまり充実していない	10.0%	(8.4%)
・まったく充実していない	4.0%	(3.8%)
小計	14.0%	(12.2%)
・どちらともいえない	23.0%	(24.3%)

※ () 内は前回調査 (R02) の結果

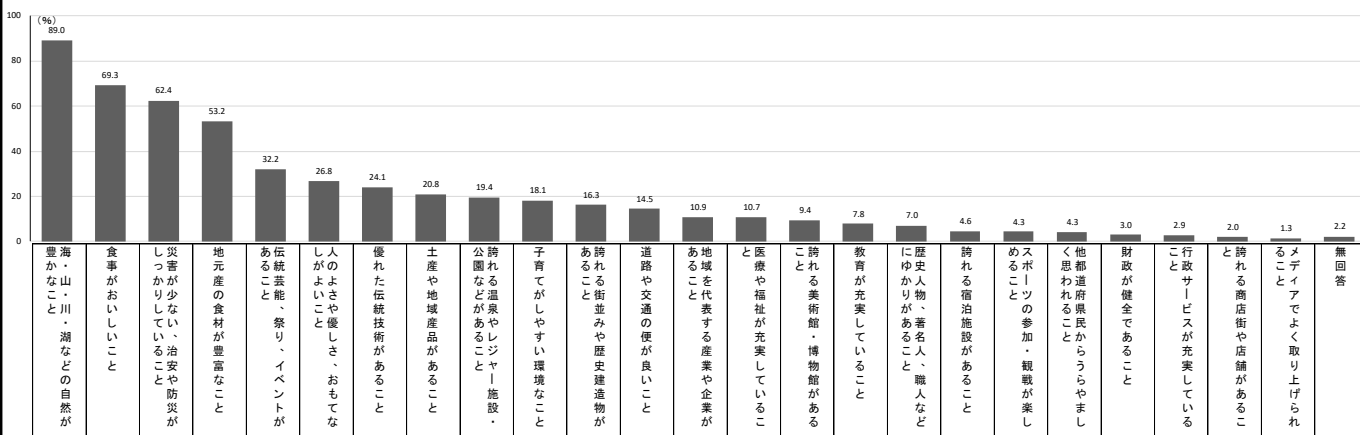
(4) 富山県に対する愛着度について (単一回答)

・前回同様、『とても愛着がある』、『やや愛着がある』で8割超となっている。



(5) 富山県のどのような点を誇りに思うかについて (複数回答: いくつでも)

・前回同様、『海・山・川・湖などの自然が豊かなこと』、『食事がおいしいこと』、『災害が少ない、治安や防災がしっかりしていること』が上位となった。



1 海・山・川・湖などの自然が豊かなこと	89.0%	(①86.2%)
2 食事がおいしいこと	69.3%	(③63.6%)
3 災害が少ない、治安や防災がしっかりとしていること	62.4%	(②64.9%)
4 地元産の食材が豊富なこと	53.2%	(④50.2%)
5 伝統芸能、祭り、イベントがあること	32.2%	(⑤31.6%)

※ () 内は前回調査 (R02) の結果

< 県民参考指標（総合計画）に係る設問 >

(6) 県内には、自然、歴史、文化、特産品など多くの魅力や地域資源がありますが、県外の知人、友人等に自信をもって紹介したり、奨めたりできるものがありますか。

たくさんある	23.5% (22.2%)
少しはある	66.8% (67.1%)
ない	7.8% (6.5%)

※ () 内は前回調査 (R02) の結果

(7) あなたは、県内において、音楽や演劇、美術など芸術文化に親しむ機会が充足されていると思いますか。

十分に充足されている	2.4% (2.6%)
ある程度充足されている	35.7% (37.5%)
あまり充足されていない	36.9% (38.2%)
まったく充足されていない	8.0% (7.0%)
わからない	15.3% (13.4%)

※ () 内は前回調査 (R02) の結果

(8) 最近の家庭は、しつけや望ましい生活習慣づくりなど、子どもの教育において、役割を果たしていると思いますか。

十分に果たしている	2.5% (1.9%)
ある程度果たしている	41.2% (42.6%)
あまり果たしていない	34.8% (36.8%)
まったく果たしていない	4.5% (4.5%)
わからない	14.9% (12.2%)

※ () 内は前回調査 (R02) の結果

(9) あなたは、過去1年間に、生涯学習を行ったことがありますか。

ある	29.7% (33.3%)
ない	67.9% (65.1%)

※ () 内は前回調査 (R02) の結果

(10) あなたが住んでいる地域の活動に参加していますか。

※ () 内は前回調査 (R02) の結果

積極的に参加している	12.4% (13.3%)
ときどき参加している	46.4% (49.6%)
参加していないが、今後は参加したい	18.8% (16.7%)
参加していないし、今後も参加したくない	20.6% (19.2%)